

2011 年 年頭にあって

あけまして おめでとうございます

短い年末年始でしたが、いかが過ごされましたでしょうか？さて、新たな1年が始まりました。昨年11月末に事業承継を行い、大きな役割と責任を背負って、新たに船出しました。気負いしすぎずに、一步一步確実に歩んでいきたいと思います。

社会に目を向けますと、民主党に政権が交代しても首相が次々と交代していくなど不安定な政局が続く、そのことが政治を混迷させ、指導者は道筋を示せない状況となっています。経済の面では、2008年リーマンショック後の金融危機は、急速に回復したと言われていますが、現在の輸出急減の不況は、「新成長戦略」の大きな足枷となっています。アメリカとの沖縄普天間基地問題／北朝鮮の軍事／韓国・中国・ソ連などとの領土問題など、アジア外交は一触即発の危険が高まっています。自然科学に目を向けると、気候変動の影響が、夏の激しい日射や集中豪雨を引き起こし、ここ最近では、大雪などの災害を引き起こし、大きな被害が出ています。

日本丸は、戦後復興／いざなぎ景気／バブル景気そしてその崩壊と続き、明白な「停滞期」となっているようです。

公共事業に頼った私たちの業界も縮減の嵐が吹き荒れ、離合集散を繰り返して、疲れ果ててきています。そんな時だからこそ、「元気な会社」であることが今更に必要とされます。創業以来25年が経過し、その経験と実績を活かし、「元気な会社」であるために、今年は原点を見つめ直すことを行います。

私たちの原点。それは、フィールドを大切にすることです。必要な情報を、スタッフ一人一人が自ら計画立案～現地調査～データのとりまとめ～レポート作成～報告できる腕を磨きます。

お客様の要望を汲み取り、適切な予算で、的確な情報を配信できるようにマネジメント能力を向上させます。

この1年、事故やトラブルなく、お客様と共に成長していけるように精進致します。本年もご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

平成23年卯年

代表取締役 田中 秀宜